

保護者の皆様

札幌市立あいの里東小学校
校長 高橋 健一

令和8年度 全国学力・学習状況調査の本校の結果について

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃より本校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、4月に全国の小学6年生と中学3年生を対象に行われました「全国学力・学習状況調査」の「児童生徒質問紙調査結果」と「教科に関する調査結果」について、本校の6年生の状況をお知らせいたします。

今回の結果を分析・検証し今後の学習・生活指導に生かしてまいります。御家庭におかれましても、お子さんのこれからの学習や生活の充実のための参考にしていただきたくお願い申し上げます。

【児童質問調査の結果について】

児童質問調査では、「朝食を毎日食べている」「自己肯定感」「大人への信頼と学級での安心感」「地域・人への高い貢献意識」「ICT を活用した表現力」において非常に高い肯定的回答が見られます。一方で、「自分に合った学び方を自主的に工夫すること」や「算数への苦手意識の克服」が今後の重点課題です。

○「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」を選択したものを「肯定的解答」とします。

○パーセンテージが低くても、全国平均よりも大きく高い項目を挙げています。

質問項目(生活習慣・意識の主な領域)		本校児童の状況 (肯定率等)	本校の特徴・評価
【基本的生活習慣】	朝食を毎日食べている	93.8%(肯定的)	◎ 規則正しい生活習慣の定着
【自己肯定感】	自分にはよいところがある 先生が認めている	95.8% 96.0%	◎ 高い自己有用感と信頼感
【信頼と安心感】	困りごとを相談できる 否定されない風土	75.0% 73.0%	○ 安心して学べる学級環境
【貢献意識】	人の役に立ちたい 困っている人を進んで助ける	100.0% 96.0%	◎ 思いやり・貢献意欲
【ICT・表現力】	プレゼンを作成できる 構成を工夫して発表	83.0% 77.0%	◎ デジタル活用と表現力
【粘り強さ】	国語の記述問題に最後まで取り組む	81.3%(肯定的)	○ 諦めずにやり抜く姿勢
【教科への意識】	国語が好き・大切 算数は大切だと思う	国語 81.85% 算数 97%	○ 国語への親しみと教科の重視
【課題項目】	分からない時に自分で学び方を 工夫する	18.8% (十分できている)	▲ 主体的な学び方の工夫が必要
【課題項目】	算数の勉強が得意である	14.6% (得意である)	▲ 算数への苦手意識解消が課題

ご家庭の温かい支援により、規則正しい生活習慣と自他を愛する心が育まれています。学校ではこの信頼関係と発信力を強みとして活かし、「自ら学び方を工夫し、粘り強く課題を解決する力」の育成に力を注いでまいります。

【国語の結果について】

- **本校の成果と現状:**「言葉の特徴や使い方」や「読むこと」が高く、記述問題に最後まで取り組む姿勢も定着しています。
- **課題:** 複数の資料や情報を活用し、自分の考えが相手に伝わるよう文章構成や表現を工夫することに課題が見られます。

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
小学校国語	全体 全国平均に比べ、大きく上回っている。 《言葉の特徴や使い方に関する事項》 ◎全国平均に比べ、大きく上回っている。 《話すこと・聞くこと》 ▽全国平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや下回っている。 《書くこと》 ◎全国平均に比べ、大きく上回っている。 《読むこと》 ○全国平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや上回っている。	▼資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ▼自分の考えが伝わるように書き方を工夫すること。 ▼情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し通こと。	【情報の整理と要約力の強化】: 文章の中心となる語句や文を見付け、原因と結果など必要な情報を的確に捉える学習を充実させます。 【根拠をもった記述指導】: 複数の資料や文章から考えられることを友達と交流し、自分の考えを明確な理由とともにまとめる記述活動を推進します。

【算数の結果について】

- **本校の成果と現状:**「図形」領域は視覚的にとらえるための工夫が実り、強みとなっています。
- **課題:** 「変化と関係(割合等)」の特に「混み具合の比較」や「基準量を求める立式」に課題が見られます。

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
小学校算数	全体 全校区平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや下回っている。 《数と計算》 ▽全国平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや下回っている。 《図形》 ◎全国平均に比べ、大きく上回っている。 《変化と関係》 ▼全国平均に比べ、大きく下回っている。 《データの活用》 ○全国平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや上回っている。	▼整数と小数の減法の計算をすること。 ▼異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できること。 ▼日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して、直方体の3つの辺の長さを捉え、示された条件をもとに、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて、記述すること。 ▼百分率であらわされた割合と比較量から、基準量を求めること。 ▼基準量、比較量、割合の関係が正しくあらわされている図を選ぶこと。 ▼二次元の表から条件に合う数を読み取ること。	【視覚的モデルの徹底活用】 割合の「もとにする量」と「比べられる量」の関係を線分図やテープ図で可視化し、立式の意味の確実な理解を図ります。 【解き方のプロセスを説明する活動】 答えだけでなく「なぜその式になるのか」を図や言葉で友達に解説し合う協働学習を取り入れ、思考プロセスを大切にします。

今後も、子どものよさを認めるとともに、日常の指導や道徳科の学習を通して、一人ひとりの心を育てて参ります。また、基礎・基本を大切にしながら、体験的な学習などを通して、より実感を伴う理解につながる学習を進めて参ります。